

## 福岡市博物館における研究活動上の行動規範

博物館における研究活動においては、学術性とともな公正性が保証されねばならず、これをないがしろにすることは市民の信頼に背き、博物館の存立そのものに関わる問題と言える。こうした観点から福岡市博物館では、公正な博物館活動を推進するために、以下の行動規範を定めるものとする。

### (対象)

1. この行動規範は、福岡市博物館において研究活動に従事し、その成果を公表するすべての職員（嘱託・臨時任用職員を含む）を対象とする。研究活動とは博物館活動に関わるあらゆる調査研究、成果の公表、それらに関わる補助などのすべての活動を指す。

### (不正防止)

2. 研究活動においては不正をおこなうことはもちろん、いかなる意味でもそれに荷担してはならない。また、成果の公表にあたっては先行研究の充分な参照、自身の論考におけるオリジナリティの明示、著作権のルールに従った引用などの諸原則を厳守しなければならない。

### (法令遵守)

3. 研究活動においては、研究活動が公的資金によって支えられていることを常に自覚し、その厳正かつ公正な執行に努めるとともに、関連法規と学術分野の倫理を遵守し、社会の信頼と付託に応え得る成果の公表に努めなければならない。

### (不正予防)

4. すべての職員は不正を発見した場合、その除去のために適切な行動をとらなければならない。

### (差別防止)

5. 研究活動においては、人権を尊重し、他の研究者への敬意をもって行動するとともに、あらゆる差別やハラスメントを防止するよう努めなければならない。

平成28年4月1日